

## 地方協会だより

# 公益財団法人 岡山県市町村振興協会



## I これまでの経過

当協会は、市町村振興宝くじの収益金を活用して、県内市町村の振興発展を図り、住民福祉の増進を目的として、昭和54年4月に設立されました。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行し、市町村振興に取り組んでいます。

現在の中心的な事業である市町村への貸付事業は昭和58年度にはじまり、これまで600事業360億円を超える公共事業整備に融資を実施してきました。平成6年度には、市町村の集合拠点として岡山県市町村振興センターを建設し、平成16年度からは、県等へ委託していた市町村職員研修を当協会の直営事業として、研修センターを設置し、約30,000人以上の市町村職員が受講しています。

## II 協会の概要

### 1 関係市町村数（平成28年4月1日現在）

26市町村（14市10町2村）

※政令市（岡山市）を含まず

### 2 体制

評議員 6名

理事 6名

監事 3名

事務局 10名

### 3 基金等の状況（平成28年3月31日現在）

(1) 基本財産	50,000,000円
(2) 基金積立資産	5,459,844,698円
(3) 長期貸付金	13,414,394,798円

## III 事業の概要

### 1 市町村の振興に資する事業に対する資金貸付事業

市町村に対して災害時における緊急融資事業及び災害防止対策事業並びに緊急に整備を要する施設等整備事業に、資金貸付を行っています。

#### 平成28年度（27年度起債）貸付条件

種類	対象事業	貸付利率	償還内容
短期単年度	協会が定めた災害関連事業	上限2.0%～下限0.1%で理事長が定める。	一括償還
長期5年以内（うち据置期間1年）	地方債の同意又は許可を受けた事業。但し、協議不要対象団体はこの限りでない。	年3.0%を上限とし、財政融資資金の貸付金利を基準に理事長が定める。	半年賦元金均等割償還
長期12年以内（うち据置期間2年）			
長期15年以内（うち据置期間3年）			

#### 貸付実績

（単位：千円）

年度	貸付団体数	貸付金額	貸付残高
平成23年度	15	1,792,900	13,456,148
平成24年度	15	1,638,000	13,287,380
平成25年度	15	1,505,500	12,871,270
平成26年度	14	1,861,400	13,169,029
平成27年度	15	1,920,000	13,414,395

### ■貸付事業を活用した事業例



倉敷市立児島武道館



新見公立大学本館・体育館

## 2 市町村振興宝くじ岡山県交付金を市町村のソフト事業の財源として交付する事業

岡山県から交付されたオータムジャンボ宝くじの収益金を、市町村が行う地方財政法第

32条に定める事業の財源として（均等割50%、人口割25%、面積割25%の合計額）交付しています。

【平成27年度実績】

26市町村 44事業 交付額 262,284千円

### ■交付金活用事業例



事業種目：芸術・文化に係る事業  
事業名：津山市図書館運営事業



事業種目：芸術・文化に係る事業  
事業名：久米南町図書館整備事業、文化振興事業（川柳大会等）

## 3 市町村の振興に資する事業に対する助成事業

市町村及び複数の市町村が連携共同して行う市町村の振興に資する事業へ助成しています。

### ①市町村連携活動等支援助成事業

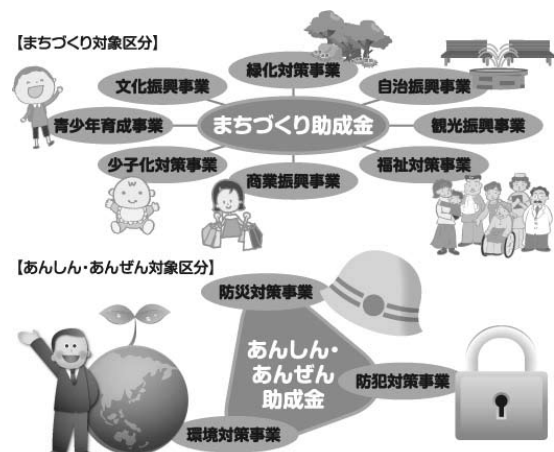
市長会、町村会、市議会議長会、町村議会議長会、岡山県市町村税務協会が実施する市町村支援事業に対して助成しています。

### ②協働のまちづくり助成事業

市町村が住民と協働して実施する事業について、「まちづくり」と「あんしん・あんぜん」の2区分により、それぞれ事業費の1/2（上限100万円）を助成しています。

【平成27年度実績】

26市町村 73事業 助成額 51,125千円



#### 4 市町村職員等の人材育成のための研修及び ひとづくり支援事業

市町村職員等の能力開発と人材育成を図るために必要な研修及び支援を実施しています。

##### ①市町村職員等合同研修事業

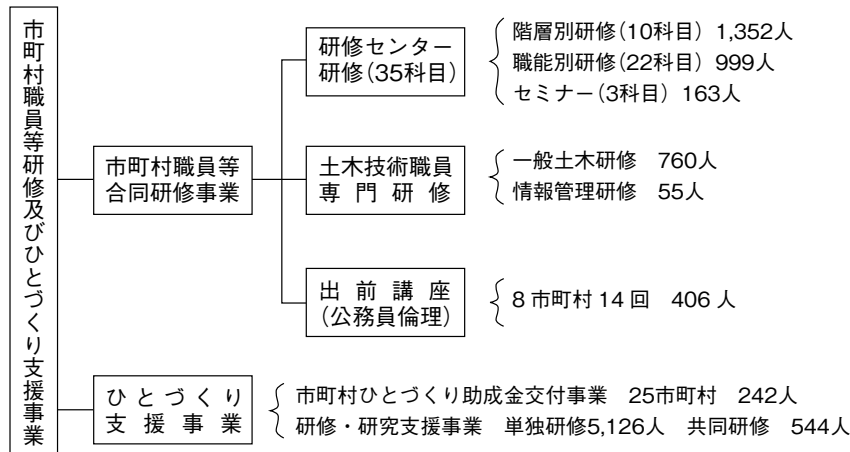
##### (1) 市町村及び一部事務組合職員の一般研修

を階層別研修、職能別研修、セミナーに分けて実施しています。

(2) 市町村の土木技術職員研修を(公財)岡山県建設技術センターに委託し実施しています。

(3) 市町村の要望に応じて、専任講師を派遣し、公務員倫理、コンプライアンスのテーマで出前講座を開催しています。

平成 27 年度実績



#### ■研修の様子



##### ②市町村ひとづくり助成金交付事業

岡山県内では受講する機会が少ない、高度で専門的かつ実務的な研修を行っている研修

機関に職員を派遣した場合に、受講経費の一部を助成しています。

助成対象機関	助成金額（1人あたり）	助成対象 受講経費項目（詳細）
市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	受講経費 + 23,000円 (交通費上限) ※要した交通費の実費額	研修費、研修生活動費、教材用図書費、特別セミナー参加経費
全国市町村国際文化研修所 (国際文化アカデミー)	受講経費 + 11,000円 (交通費上限) ※要した交通費の実費額	研修費、研修生活動費、教材用図書費、特別セミナー参加経費
自治大学校	受講経費の2/3	納入金、校友会費
全国建設研修センター	受講経費の1/3	研修会費、宿泊費（前泊も含む）
日本下水道事業団	受講料の1/4	受講料

③研修・研究支援事業

市町村等が単独で行う研修及び共通の課題を抱える複数の市町村で行う研修・研究に対して、講師謝礼等に係る経費の一部を、一回の研修につき上限250,000円（回数制限有り）を助成しています。

5 市町村振興に関する調査研究及び情報提供を行う事業

①調査研究

市町村に共通する課題又は行政テーマについて調査研究を行い、最終的には成果発表会を実施、また、報告書を作成し県内市町村へ配布しています。

■平成27年度実績

- ・地域産業人材育成講座（岡山県との共催事業） 年9回実施（成果報告会を含む。）
- ・岡山版スーパー公務員養成塾（財務編） 年6回実施（成果報告会を含む。）

②情報提供

行政情報、統計情報をまとめた「市町村ハンドブック」を毎年2,300部刊行し、市町村及び関係方面に広く配布するとともに、ホームページ上にもその情報を掲載しています。

6 市町村の共同事業の執務及び市町村の連携協議並びに市町村職員等の合同研修の場としての市町村振興センター管理運営事業

市町村振興及び市町村行政運営の中枢施設として、機能性を重視しながら効率的な管理運営を行っています。センター5階のれじょんホールでの合同研修等、年間6,000人を越えるの方々にご利用いただいています。



市町村振興センター全景

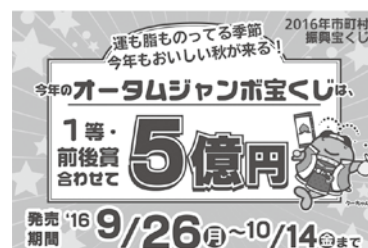
7 その他事業

市町村振興宝くじの普及宣伝のため、広報宣伝素材の製作、ラジオCM放送、新聞への広報宣伝記事の掲載及び宝くじ広報を市町村広報紙へ掲載した市町村への助成等を行っています。

■広報の事例



新聞記事中広告



◎この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや少子高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

（公財）岡山県市町村振興協会

市町村広報紙掲載のための素材提供



クリアファイル  
（年間を通じた広報）

## IV 今後の運営について

当協会は設立後、平成6年度に市町村振興センターの建設及び管理運営、平成16年度に市町村職員研修事業の直営化への転換等、県内市町村の状況に鑑み、多角的に事業に取り組んできました。

昨今は当協会の収益源であるサマージャンボ宝くじ及びオータムジャンボ宝くじの売上げが低迷するとともに、日銀のマイナス金利政策導入に伴い貸付金利が低下し、大幅な事業収入の減少が続いています。一方で地方分権そして地方創生へと推移するにつれて基礎自治体である市町村が果たす役割はますます大きくなっており、市町村振興の支援の重要性も増しています。

これからも県内市町村の現状と課題を適切に捉え、時代ニーズに適合した各種事業及び支援に取り組んでまいります。